

東京大学訪問研修

7月30日～7月31日

7月30日と7月31日に、東京大学訪問研修を行いました。1年生2名、2年生1名の意欲溢れる生徒が参加しました。

1日目は、現在東京大学農学部4年生の学生との懇親会を実施しました。舟入高校の卒業生ということもあり、東大の魅力や学習方法のみならず、普段は聞きにくいやる気の出ないときの対処方法など、幅広い話題で親身に話を聞いてくださり答えてくださいました。以下は、参加した生徒の感想の一部です。

「研修に行く前は、東大は勉強や研究に忙しいとばかり思っていた。しかし実際には、自分の時間をもち趣味も楽しんでいた。卒業生の方からは高校生活を振り返って楽しいと思えるかどうかは大切にしたいほうが良い、とアドバイスをもらった。」



2日目は、東京大学大学院工学系研究科 機械工学専攻 工学部 機械工学科の教授のベンチャー ジェンチャン教授による「ロボットとの共存社会」についての講演会に参加させていただきました。講演会後は、工学部生、工学部院生との座談会にも参加しました。以下は生徒の感想の抜粋です。

「ロボットに感情表現の動きをつけるという研究について、非常に将来性のある話を詳しく聞くことができました。この講義は、これからのロボットの発展方向や社会の変化について考える上で、とても役立ちました。」

「(ベンチャー教授に) 質問したところ、キレツッコミのようなものもいずれ技術的に(ロボットが)表現することはできるようになるそうだ。研究の最前線に立てれば自分のしたいことを思う存分できるようになるのかなと思った。」



最後に、今回の研修を通じて今後の抱負や目標を参加生徒3名とも文章で強く語ってくれました。

「自分が納得できる進路を早めに見つけ、そこに向かってひたむきに努力していきたい。」

「国語の勉強を進めつつ、英数の基礎を完璧にしていく。今回学んだことを主に東大現役合格目指して勉強する。」

「東大での訪問研修を通じて、学びの深さや挑戦できる環境の広さに触れ、私は自分の進むべき方向性について少し明確になったと感じています。特に、歴史的な重みを持ちながら

も最先端の研究や挑戦が行われている東大の魅力に感銘を受けました。(そして)「挑戦する精神を持ち続けること」(の大切さを学びました。)座談会や研究内容から「とりあえずやってみよう」という精神が強く感じられました。東大生は皆、挑戦しようという精神を大事にしていることがよくわかりました。そのため、今後は失敗を恐れず、新しいことに挑戦し続ける姿勢を持ちたいと思います。」

実り多き研修となりました。これからの舟入生の多方面での躍進に期待しています。お疲れさまでした。